

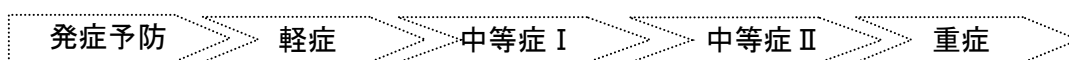
2023 年度 埼玉協同病院・ふれあい生協病院 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 軽症から中等症における治療薬の選択

新型コロナウイルス感染症 (以下 COVID-19) に対する治療薬の開発がすすみ、現在の承認薬は 10 剤となりました。

また、国内におけるオミクロン株は BA.5 系統が主流でしたが、2023 年 1 月以降は XBB 系統 (BA.2 系統に含まれる) が増え、埼玉県内でも 2023 年 4 月から XBB.1.5 系統、XBB.1.9 系統、XBB.1.16 系統が主流となっています。

流行の遷移に伴い使用可能な薬剤も変化しています。下記に重症度と薬剤選択の図、現在の推奨薬剤について改めてまとめましたのでご参照ください。

<重症度別マネジメント> (「COVID-19 診療の手引き」より)



呼吸療法

酸素療法

挿管人工呼吸
/ECMO

抗ウイルス薬

ベクルリー®

ラゲブリオ®

パキロビッド®

ゾコーバ®

免疫抑制・調整薬

ステロイド

オルミエント®

アクテムラ®

抗凝固薬

ヘパリン

--- オミクロンに対する効果減弱のおそれ (抗ウイルス薬が使用できない場合に本剤を検討) ---

中和抗体薬

ゼビュディ®

ロナプリーブ®

エバシエルド®

曝露後

曝露前

★現在承認されている薬剤と当院で使用可能な薬剤について ※詳細は別紙参照

抗ウイルス薬

ウイルスの増殖を抑える

製品名	取扱可否	購入	同意書
ベクルリー	採用	一般流通	不要
ラゲブリオ	試用	一般流通	不要
パキロビッド	試用	一般流通	不要 (2023. 8. 1~)
ゾコーバ	非採用	一般流通	要

★入院の場合

第1選択；ベクルリー

【投与開始基準】

- ① 軽症（重症化リスクがあること）
- ② 中等症 I 以上

※発症から早期の治療開始が望ましい（遅くとも7日以内）

※eGFR<30未満の場合の投与は要検討

【用法・用量】1日1回点滴投与

（以下、成人の場合）

●投与初日（投与時間：60分）

ベクルリー2V（200mg）を注射用水38mlで溶解し、生食210ml（予め40ml抜き取る、全量250mlとする）に希釈し投与

●2日目以降（投与時間：30分）

ベクルリー1V（100mg）を注射用水19mlで溶解し、生食80ml（予め20ml抜き取る、全量100mlとする）に希釈し投与

【調製時の注意】

- ・1バイアルに19mlの注射用水を加え、直ちに30秒間攪拌し、2～3分静置した後、透明な用液であることを確認する
- ・静かに20回を目安に反転させて混和させる。振とうは避ける。

【投与期間】

- ① 軽症（重症化リスクがあること）の場合：3日間
- ② 中等症 I 以上の場合：原則5日間までとし、症状の改善が見られなければ10日間まで投与可

【禁忌】本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者

【慎重投与】腎障害、肝障害（ALTが基準範囲上限の5倍以上の患者は、肝機能障害悪化する恐れがあるため投与しないことが望ましい）、妊婦・授乳婦（いずれも有益性投与）

【主な副作用】過敏症、急性腎障害、急性肝障害、徐脈、Infusion Reaction（低血圧、嘔気、嘔吐、発汗、振戦等）

★外来の場合

重症化リスク因子のない軽症例の多くは自然に改善するため、対症療法で経過をみる
重症化リスクがあり、入院できない場合、抗ウイルス薬での治療を考慮する

第1選択；パキロピッド

第2選択；ラゲブリオ

★老人保健施設で使用する場合

外来の処方に準ずる。コロナ治療薬は病院の外来処方とする。（医療保険適用）

（3月31日時点、今後変更の可能性あり）

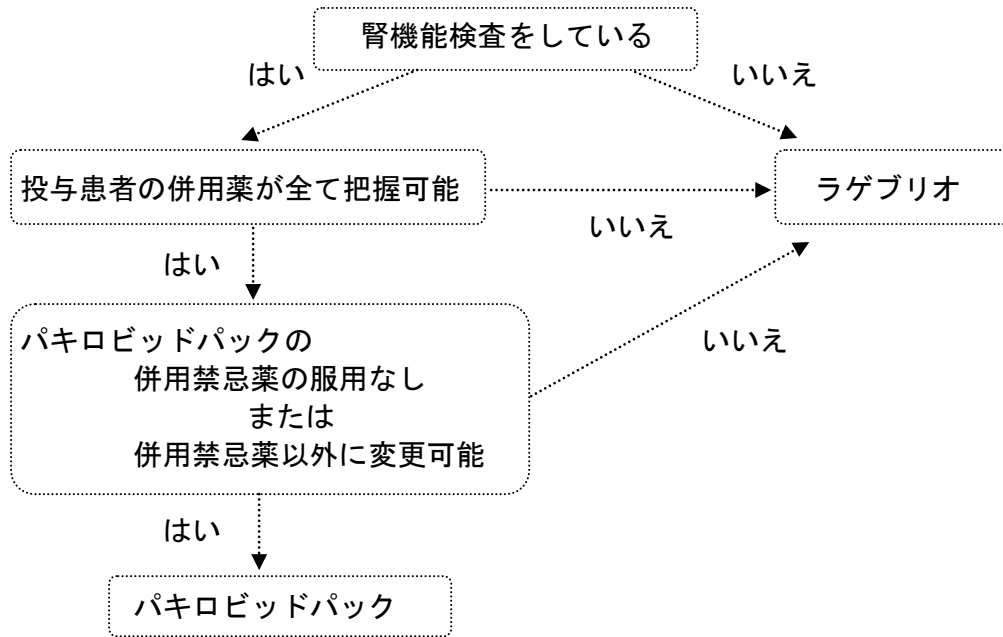
☆ラゲブリオカプセル

- ・相互作用が少ない
- ・効果は弱い
- ・カプセルが大きく飲みづらい場合がある
- ・妊婦には禁忌

☆パキロピッドパック

- ・有効性が高い
- ・相互作用（禁忌薬・併用注意薬）が多い
- ・腎機能が悪い場合は減量の必要がある

<パキロビッドとラゲブリオの使い分け>



※妊婦の場合は、第1選択；ベクルリー 第2選択：パキロビッド

※eGFR<30 未満の場合は、パキロビッドの使用は推奨しない。ベクルリーは要検討

抗炎症薬

ウイルスによる炎症を抑える

デキサメタゾン	採用	入院患者に使用
オルミエント®	コロナ治療薬としての採用はなし	当院では使用事例なし
アクテムラ®	コロナ治療薬としての採用はなし	当院では使用事例なし

デキサメタゾン 静注；デキサート注 6.6mg 1日1回点滴静注
経口・経管；デカドロン錠 (4mg)1.5錠 1日1回内服
※40kg 未満は、デキサメタゾン 0.15mg/kg/日へ減量
※妊婦・授乳婦には、プレドニゾロン 40mg/日を考慮

抗凝固薬

ヘパリン Ca 皮下注 (5000 単位/0.2ml) 1日2回皮下注
* 血栓症リスクに応じて考慮

中和抗体薬

ウイルスの細胞への侵入を防ぐ ※使用しない

ロナプリーブ® (カシリビマブ/イムデビマブ)	流行の遷移に伴い取り扱い中止
ゼビュディ® (ソトロビマブ)	流行の遷移に伴い取り扱い中止
エバシェルド® (チキサゲビマブ/シルガビマブ)	厚労省の薬剤供給の対象は発症抑制目的のみ。 (治療目的は対象外)

現在承認されている中和抗体薬は、SARS-CoV-2 のスパイクタンパク質を標的としているため、その変異により中和活性が低下します。XBB 系統も大幅な低下が報告されており、WHO の治療ガイドライン (2023 年 1 月 23 日改訂)にて、ロナプリーブ®、ゼビュディ®は使用しないことが強く推奨されています。米国では現在、EUA(緊急使用許可)はエバシェルド®の発症抑制のみで他は停止されています。



DI 情報

【副作用報告】 DI 委員会 7 月報告 : 浦和 1 件、川口 1 件

No	被疑薬	副作用症状	グレード	院所	評価
1	アレンドロン酸錠 35mg 「サワイ」	骨痛	1	浦和	可能性あり
2	アレンドロン酸錠 5mg 「NIG」	下痢	1	川口	可能性あり

【気になる事例の紹介～プレアボイド報告より～】 DI 委員会 7 月報告

薬剤名	経過・内容・
シロスタゾール錠	脳梗塞でシロスタゾール、バイアスピリン内服している方が、今回心不全で入院した。シロスタゾールはうっ血性心不全を悪化させる恐れがあり、うっ血性心不全患者に禁忌のため主治医に問い合わせし、シロスタゾール中止となった。
六君子湯 抑肝散 大黃甘草湯	低カリウム血症にて塩化カリウム服用中の患者様が入院された。入院時は $K3.6mEq/L$ と正常範囲内であったが、外来で六君子湯 2 包/日、抑肝散 3 包/日、大黃甘草湯 3 包/日を服用中であり、甘草の合計量は $3.16g/日$ であった。甘草による低カリウム血症誘発の恐れがあったため、漢方の減薬について検討した。食事摂取良好なため、食思不振に対して服用中の六君子湯と、下剤として服用中の大黃甘草湯の中止を主治医に提案した。 その結果、六君子湯、大黃甘草湯中止になり、塩化カリウムも同時に中止した。中止後、 K 値の変動は無く正常値範囲内に収まっていた。
クエン酸第一ナトリウム錠	フェジン静注から内服への切り替えの際に、クエン酸第一ナトリウム錠 $50mg/日$ で処方された。しかし簡易懸濁法による投与指示があり、クエン酸第一ナトリウム錠では水（約 $55^{\circ}C$ ）にて溶解困難かつ粉砕により安定性確保されないため、フェロミア顆粒への変更を主治医に提案し変更となった。その際、フェロミア顆粒は 1 包 $100mg$ の製品のため、変更により増量となることを主治医に了承いただいた。 参考：内服薬 経管投与ハンドブック 第 4 版



— 今月号の目次 —

- ① < 今月のトピック 1 > 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 治療薬の選択について P1-3
- ② < DI 情報 > P4-5
- ③ (付表) コロナ治療薬比較表

【採用薬変更のお知らせ】（県連薬事委員会 7月報告より）

新規採用・新規試用				採用削除		
変更理由	メーカー	薬品名	薬価	メーカー	薬品名	薬価
新規採用	トーアエイヨー	ビソノテープ 4mg	64.9 円/枚			
採用変更	田辺三菱	マイザー軟膏 0.05% (10g/本)	13.1 円/g	鳥居薬品	アンテベート軟膏 0.05% (10g/本)	18.9 円/g
採用変更	大正	パンドルローション 0.1% (10mL/本)	20.7 円/mL	鳥居薬品	アンテベートローション 0.05% (10g/本)	18.9 円/g
販売中止に伴う採用変更	久光	エクラープラスター 20 μ g/cm ²	46 円/枚	住友ファーマ	ドレニゾンテープ 4 μ g/cm ²	62.6 円/枚
	EA ファーマ	リーバクト配合顆粒	134 円/包	日医工	アミノバクト配合顆粒 (日医工)	58.2 円/包
	あすか	プロスタール錠 25	45.1 円/錠	武田テバ	クロルマジノン酢酸エステル錠 25mg 「タイヨー」	9.6 円/錠
	東和薬品	シアノコバラミン注射液 1000 μ g 「トーワ」	84 円/A	日医工	シアノコバラミン注射液 1mg 「日医工」	84 円/A
	日新	デキサメタゾンエリキシル 0.01% 「日新」	1.9 円/mL	日医工	デカドロンエリキシル 0.01% (日医工)	4.3 円/mL
	メルクバイオ	オビドレル皮下注シリンジ 250 μ g	2906 円/本	富士製薬工業	注射用 HCG5,000 単位 「F」	1806 円/本
採用変更	日本薬工	アムロジピン OD 錠 2.5mg/5mg/10mg 「ケミファ」	10.1 円/5mg 錠	大原薬品	アムロジピン錠 2.5mg/5mg/10mg 「オーハラ」	10.1 円/5mg 錠
後発変更	共和薬工	リスペリドン錠 1mg 「アメル」	10.1 円/錠	ヤンセンファーマ	リスパダール錠 1mg	16.6 円/錠
銘柄変更	東和薬品	クリンダマイシンリン酸エステル注 600mg 「トーワ」	346 円/A	日医工	クリンダマイシン注射液 600mg 「NIG」 (日医工)	588 円/A
	ケミックス	ユナスピン静注用 0.75g/1.5g/3g	494 円/3g V	MeijiSeika	スルバシリン 静注用 0.75g/1.5g/3g	656 円/3g V
	沢井	セフトアジジム静注用 1g 「サワイ」	444 円/V	ケミックス	セフトアジジム静注用 1g 「CHM」	630 円/V
	日本ケミファ	ラベプラゾールナトリウム錠 10mg/20mg 「ケミファ」	30.1 円/10mg 錠	陽進堂	ラベプラゾール Na 錠 10mg/20mg 「YD」	21.5 円/10mg
	沢井	エバスチン OD 錠 5mg/10mg 「サワイ」	20.1 円/5mg 錠	陽進堂	エバスチン錠 5mg/10mg 「YD」	20.1 円/5mg 錠
	三和化学	ダルベポエチンアルファ BS 注 /10/20/30/40/60/120/180 μ g シリンジ 「三和」	4372 円/60 μ g S	協和キリン	ダルベポエチンアルファ注 5/10/20/30/40/60/120/180 μ g シリンジ 「KKF」	4372 円/60
新規試用	アストラゼネカ	テゼスパイア皮下注 210mg シリンジ	176253 円/本			
後発品へ変更	杏林製薬	エプレレノン錠 25/50mg 「杏林」	12.8 円/25mg	ヴィアトリス	セララ錠 25mg/50mg	34.7 円/25mg
	東和薬品	アジルサルタン錠 20mg/40mg 「トーワ」	37 円/20mg 錠	武田薬品	アジルバ錠 20mg/40mg	140.1 円/20mg
	武田テバ	フルチカゾンフランカルボン酸エステル点鼻液 27.5 μ g 「武田テバ」 56 噴霧	1281.9 円/本	GSK	アラミスト点鼻液 27.5 μ g56 噴霧用	1555 円/本
採用削除				日医工	d-クルフェニラミンマレイン酸塩徐放錠 6mg 「武田テバ」	5.7 円/錠

情報の提供・お問い合わせは、埼玉協同病院・ふれあい生協病院 薬剤科 D I 室(代表 0570-00-4771)
担当 栗原・寺倉・中村・木村